

1. 科目名 (単位数)	教育実習指導 (初等) II (1 単位)	3. 科目番号	SJEL3456
2. 授業担当教員	福島 裕		
4. 授業形態	基本的には講義、実習等を行い、グループ活動等を取り入れる	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	3年次に履修する。		
7. 講義概要	教育実習に対する理解を深め、教育実習生としての態度や心構えを育成する。内容としては、教育実習の意義、目的、教育実習の概要、教育実習生としての基本姿勢・生活態度、教育実習の心構え等と、教科等の学習指導案の作成及び授業実践、教育実習日誌の作成等教育実習に必要な内容について学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人(教育公務員)としての自覚をもち、使命感をもって教育実習に臨めるようになる。 2. 教育実習での自己の課題を考え、明確にし、自信を持って教育実習ができるようになる。 3. 道徳の指導計画・学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができるようになる。 4. 学校の環境や生活の流れ、学級経営の実際等、教育実習に必要な事項を理解できるようにする。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>○それぞれの教科の指導法で学習した成果を生かし、さらに工夫・改善した学習指導案(道徳)を作成し提出すること。</p> <p>○観察評価表や自己評価表・相互評価表を作成・提出する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【参考書】</p> <p>○東京福祉大学編「教育実習の手引き」</p> <p>○文部科学省『小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 総則編』東洋館出版社</p> <p>『小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 特別の教科 道徳編』廣済堂あかつき</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 小学校教諭としての資質を理解しているか。 2, 児童理解を通して授業研究に取り組もうとしているか。 <p>○受講に対し、次の内容を総合して評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 授業態度 (教科書の準備・私語・発表) 30% 2, 学習指導案の提出 30% 3, 模擬授業観察記録の提出 20% 4, 模擬授業 20% <p>上記の他に、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>○充実した教育実習を行うために、児童の視点を大切にした多面的な教材研究と多様な学習過程を理解し、発問や板書を実践的に学びます。そのためにも、受講生の皆さんに以下のことを望みます。</p> <p>ア 事前学習を重視し、十分に準備して授業に臨んでください。</p> <p>イ 言葉を大切にし、豊かな表情、明確な言葉遣いを身につけるように努めましょう。</p> <p>ウ それぞれの教材が、児童にとってどのような意味を持っているかを常に考えてください。</p> <p>エ 教材作成、発問・板書等の指導方法や指導技術を生かし模擬授業に取り組んでください。</p> <p>オ 社会人としての教養や資質を高める努力をしてください。</p>		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション、 教育実習の意義・目的、概要について 教育実習に関するアンケート実施	事前学習	教科書、ノート、資料整理用ファイル等の準備をしておく。
		事後学習	「手引き」の実習の意義・目的、概要等の重要事項を整理しまとめる。
第 2 回	小学校教育の概要について 小学校の教育課程組織、教師の 1 日の生活を理解する	事前学習	小学習指導要領解説「総則編」pp. 99～111 を読み、内容を把握する。
		事後学習	配布資料を参考に学習指導案に記載する項目と内容を整理する。
第 3 回	教育実習への準備① 教育実習期間のスケジュールを把握する	事前学習	実習期間中に行う事柄を資料から書き出しておく。
		事後学習	具体的な取り組みについて、要点を確認しノートに整理しておく。
第 4 回	教育実習への準備② 第 1 週目の期間に留意する事柄	事前学習	第 1 週目の計画から取り組むべき事柄を抽出し、必要項目をノートに整理しておく。
		事後学習	第 1 週目に取り組むべき事柄に対し、自分なりの注意事項を整理しておく。
第 5 回	教育実習への準備③ 第 2 週目に留意する事柄	事前学習	第 2 週目の計画から取り組むべき事柄を抽出し、整理しまとめておく。
		事後学習	第 2 週目に取り組むべき事柄に対し、自分なりの注意事項を整理しておく。
第 6 回	教育実習への準備④ 指導案の略案と細案の書き方	事前学習	学習指導案の略案や細案についての基本的事項を調べておく。
		事後学習	略案と細案の違いを整理し、書き方についての理解を深めておく。
第 7 回	教育実習への準備⑤ 授業における発問の役割と分析	事前学習	授業における発問の重要性について調べておく

		事後学習	発問の分類、発問の生かし方、主発問や補助発問の計画が作成できるよう整理する。
第8回	教育実習への準備⑥ 授業における板書の役割と分析	事前学習	多様な板書の事例を調べておく。
		事後学習	より適切な板書計画が作成できるよう課題を整理しておく。
第9回	模擬授業（道徳） 学習指導案の作成① 「考え、議論する道徳」の指導案を分析し、それぞれの課題を設ける	事前学習	考え、議論する道徳」についてその趣旨を調べておく。
		事後学習	考え、議論する道徳」について、理解したことや今後の授業実践への留意点を整理しておく。
第10回	模擬授業（道徳） 学習指導案の作成② 課題解決のために「考え、議論する道徳」の指導案を作成する	事前学習	展開案について、自分の考えや指導のアイデア等を整理しまとめておく。
		事後学習	指導案を完成させ、各種資料の準備、主発問、補助発問、板書計画等の整理をしておく。
第11回	模擬授業（道徳） 学習指導案の課題を共有する③ 「考え、議論する道徳」の指導案の課題解決策を明示し共有を図る	事前学習	完成した指導案をもとに、各自の課題を整理し提示・共有できるようにしておく。
		事後学習	全体の課題、各自の課題を整理し、適切に課題解決ができるよう授業の準備をする。
第12回	模擬授業の実施① 観察、相互評価 「考え、議論する道徳」の授業実践	事前学習	授業のシナリオを確認し、資料準備、主発問、補助発問、板書計画等の整理をしておく。
		事後学習	相互評価表、自己評価表を整理し、反省点や今後の課題等をノートにまとめる。
第13回	模擬授業の実施② 観察、相互評価 「考え、議論する道徳」の授業実践	事前学習	これまで課題を解決するために講じた手立てを生かしたシナリオを確認し、資料の準備、主発問、補助発問、板書計画等の整理をしておく。
		事後学習	相互評価表、自己評価表を整理し、反省点や今後の課題解決に向けて取り組むことをノートにまとめる。
第14回	教育実習直前の準備① 実習日誌の書き方、実習録の書き方、参考例をもとに作成する	事前学習	教科書『教育実習の手引き』の該当箇所の概要を把握し、不明なことや疑問点を整理しておく。
		事後学習	実習日誌を記述するうえでの重要なポイントを理解し、記録できるようにする。
第15回	教育実習直前の準備② 礼儀・マナー、服装・持ち物、実習最終日について等 学習のまとめ	事前学習	教科書『教育実習の手引き』の該当箇所の概要を把握し、不明な点や質問事項を整理しておく。
		事後学習	教育実習の重要な点である「礼儀・マナー、服装・持ち物、実習最終日のこと」等についてその意味を理解し、確実に身に付けるようにする。

*2019年度以降入学生より、教育実習にかかわる単位取得は、教職課程再課程認定に伴い「教育実習指導（事前指導）」、「教育実習（4週）」および「教育実習事後指導（1時間）」におけるすべての履修によって単位取得が認定されることとなった。